

## 白川静漢字教育賞 古澤さん(浜松)最優秀



優秀賞に選ばれ、表彰状を受け取る岸下さん(左)＝21日、福井市の県立図書館

### 岸下さん(福井)ら優秀賞

漢字教育で新たな指導法の実践や特色ある教材の活用に取り組み県内外の個人や団体を表彰する「第6回白川静漢字教育賞」で、最優秀賞に静岡県で白川文字学を紹介している古澤英一さん(52)＝浜松市、優秀賞に福井市の木彫家、篆刻家の岸下順一さん(70)ら2人が選ばれた。

漢字研究の第一人者で「白川文字学」を築いた同市出身の文化勲章受章者、故白川静さんにちなみ、県と県教委が2013年度に創設した。今回は14都道府県から計66件の応募があった。

古澤さんは、地元の月刊誌に白川文字学に基づいて漢字を解説するコーナーを2016年から連載しているほか、

小中学校の特別授業や社会人向けの講演会など幅広い年代を対象に活動している。岸下さんは、古代文字をテーマにした木製のパズルやおもちゃを考案し、ワークショップなどを開いている。

このほか、会社員で漢字教育士の資格を持つ植木ゆりこさん＝東京＝が優秀賞に選ばれた。

21日に福井市の県立図書館で表彰式があり、岸下さんは「おもちゃやパズルを使って、子どもたちが古代文字に興味をもってくれたらありがたい」と語った。受賞した3人がそれぞれの取り組みを発表したほか、越前市出身の書家、評論家の石川九揚さんが記念講演した。(三好悠馬)